


カンタン操作ガイド


主電源ランプ



- 主電源ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、本体の主電源を入れてください。
- 枕を後ろに回して、お座りください。

1 背部と脚部をお好みの位置に合わせてください。

背部：  を押すと背もたれ部が起き上がります。

 を押すと背もたれ部が倒れます。

脚部：  を押すと脚部が上がります。

 を押すと脚部が下がります。

2 自動 を押し、お好みのコースを選択してください。

※選択した自動コースのランプが点灯します。

3 自動コースを選択すると、もみ玉が肩位置を自動的に検知します。検知した肩位置は、調節 を押しして変更できます。



自動コースの種類

全身 全身のコリや疲れをやわらげるコースです。

肩 肩・背部のコリや疲れをやわらげるコースです。

腰 腰のコリや疲れをやわらげるコースです。

ストレッチ ストレッチ動作を中心としたマッサージコースです。

自動コース動作中の調節

肩位置を調節したいとき

- 調節 でお好みの高さに調節します。
- 肩位置は、7段階から選択できます。

肩の強さを調節したいとき

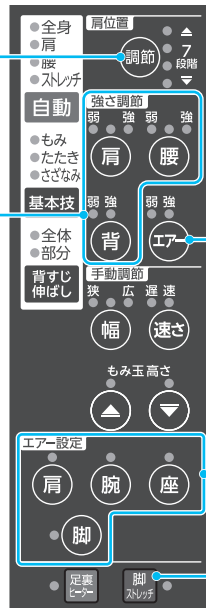
- 肩 でお好みの強さに調節します。
- 肩強さは、5段階から選択できます。

背の強さを調節したいとき

- 背 でお好みの強さに調節します。
- 背強さは、2段階から選択できます。

腰の強さを調節したいとき

- 腰 でお好みの強さに調節します。
- 腰強さは、5段階から選択できます。



エア-強さを調節したいとき

- エア- でお好みの強さに調節します。
- エア-強さは、2段階から選択できます。
- ※ エア-の強さ調節は、部位ごとに調節できません。

肩・腕・座・脚エア-を「入・切」したいとき

- 肩 エア- 腕 エア- 座 エア- 脚 エア- を押します。
- それぞれボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
- ※ 脚ストレッチが「入」の状態でも脚エア-を「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

脚ストレッチをしたいとき

- 脚 ストレッチ を押します。
- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
- ※ フットレストの状態でも脚ストレッチは動作します。
- ※ 脚ストレッチが「入」の状態でも脚エア-を「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

強さのランプ		
強さ	ランプの点灯	
	5段階 (肩・腰)	2段階 (背・エア-)
弱 1	○ ● ● ● ●	○ ●
2	○ ○ ● ● ●	● ○
3	● ○ ● ● ●	● ●
4	● ● ○ ● ●	● ●
強 5	● ● ● ● ●	● ●

●…消灯
○…点灯

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

警告

- 使用前には、必ず背もたれ部のカバーやその他の部分が破れていないか確認する。
破れがあった場合は、どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼する。
- 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理しない。
- アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。
- 使い始めは、弱い刺激でマッサージする。
- マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。
- 頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。
- 腰・尻・ももをマッサージするときは、衣服（ズボンなど）のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。
- 手や腕をマッサージをするときは、つけ爪・時計・指輪・プレスレットなどの硬いものを装着したまま使用しない。
- 次の人は使用しない。
医師からマッサージを禁じられている人
(例：血栓〔そく(塞)栓〕症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症(皮下組織の炎症を含む)など)
- 医師の治療を受けている人や心臓などに障害のある人、または身体に異常を感じているときは、必ず医師に相談する。
(詳しくは取扱説明書を参照)
- お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- リクライニングするときは、必ず周囲(本体の後部、前部、側部、下部など)に人やペット、物がないことを確認する。
- ヒーターは長時間使用しない。また、同一箇所に長時間触れるような使い方をしない。
- 使用にあたっては、取扱説明書をお読みください。